

特集

「男女共同参画の日」トークショー

あなたも今日からイクメンだ!

スペシャルゲスト
うちゅうかいぞく

宇宙海賊 ゴー☆ジャズ氏

1978年生まれ
福島県いわき市出身
サンミュージック所属の宇宙海賊。2007年 地球儀を使ってのネタでプレイク、合言葉は「レボリューション!」
二児のパパ。Youtube チャンネル「ゴー☆ジャズ動画」は子ども達に大人気。
現在チャンネル登録者数 34 万人突破。

ゲスト

横田 智史(よこた さとし) 氏
株式会社バンギンエデュケーション 代表取締役

ママ無双(むそふ)!

司 会: ゴー☆ジャズさんは、二児のパパとして日々奮闘中ですね。今日はご家庭での家事・育児参加についてお話を伺います。普段忙しいと思いますが、お子さんとどの時間を取れていますか?**ア-ジ:** なるべく、家にいるときは子どもと接するようにしています。でも、子どもが起きる前に家を出て、帰って来たら寝るということが結構あります。家にいる時はなるべく抱きつようにしています。今、上の子が「ママじゃなきゃダメ期」です。街中で叫び出して収拾がつかない時は、怒ってもしようがないです。「そうだよな」って。甘やかしてはいないですけど、ママ無双はもうどうしようもないですね。**横 田:** 僕も経験あります。息子は 9 歳になるのだから成長し過ぎたが、やはり「ママじゃなきゃダメ期」があります。その時は普段関わってないこういうことになるんだなあって思っています。

※無双(むそふ)…並ぶものが無いほど優れたこと。

ママスイッチ・パパスイッチ

横 田: 女性は妊婦すると「ママスイッチ」が入って、自分がお母さんになるんという準備ができています。でも男性は「パパスイッチ」が入るのが女性より 1 年以上遅いんです。子どもが生まれてから「パパになったんだあ」と気付く男性はまだ早いほうで、子どもと会話やキャッチボールができるようになってから思う人もいます。子どもが 0 歳~3 歳の頃、男性と女性では感覚がかなり違いますね。**岡 田:** 分かります。心当たりありませんか?**ア-ジ:** 僕は子どもが生まれた時、ちょっと人見知りが入っちゃいました。**横 田:** 男性は子どもに対して「可愛い」よりも、「どうしよう」とか「宇宙人みたい」くらいの感覚なんですね。扱い方も

ゲスト

岡田 真樹(おかだ まき) 氏
子育てママ代表

抱っここの仕方も分らないし、ママみたいにいきなり上手にできないんです。

司 会: ゴー☆ジャズさんの「パパスイッチ」は、いつくらいにオンになったんですか?**ア-ジ:** 抱っこひもで抱っこした時からいすかね。お風呂も最初の頃は入っていたんですが、妻のほうが上手くて、僕だと泣いちゃうからすぐ裏に渡しちゃったりして。でも最近は上の子も僕と一緒に入れるから、もう「パパスイッチ」全開ですね。

「やったよアピール」「手伝うよ」はNG

司 会: ママへのサポートで気を付けていることはありますか?**ア-ジ:** 僕は家のゴミ回収から捨てるまで全部やります。それは言われたからやるんじゃなくて普通にやる感じです。あと掃除もします。ただ、以前ドラマでパパ役の人がおむつ替えるだけで「おむつ替えてやったぜ!」みたいなアピールをしていて、妻すごく批判していたから「アアダメなんだな」と思いました。批判はなるべくするようにしています。**岡 田:** イラッとするのは「報告」ですね。それ要らない!って思います。**横 田:** やったよアピール!**岡 田:** そう、「報告」イコール「ほめて」ですね。エエって思いつつ、でもグッと飲み込んで、「ああ、ありがた」ってできるだけ言うようにしています。**横 田:** 昔は「男性が外でお金を稼いで、女性は家で育児家事」という役割割分でしたが、今は共働き時代になってきました。仕事は男女ともやっているのに、なぜか育児・家事はまだ女性がやる。保育園・幼稚園・学校など子ども関係は全部、なぜか母親の了解で「女性がやるべき」…おかしいと思いませんか?

本市では、「いわき市男女共同参画推進条例」において、男女共同参画についての理解と関心を深めるため、11 月の第 2 日曜日を「男女共同参画の日」と定め、その趣旨にふさわしい事業(日)に、宇宙海賊 ゴー☆ジャズ氏をスペシャルゲストに、横田智史氏と岡田真樹氏をゲストにお迎えし、トークショー等を行いました。

イクメンはもうさい?

ア-ジ: もう「イクメン」という言葉自体が古いですね。**横 田:** そうですね。10 年くらい前にできた言葉だから、もうそろそろ無くなっているほうがいいんじゃないかな。**ア-ジ:** 「イクメン」と聞くと、女性はイラッとか来ちゃいますか?**岡 田:** やっぱり自分に余裕がなかった時には、「イクメン?」じゃあ何でイクマワってないの?」と思ってイラッしました。**司 会:** パパのサポートで「これは嬉しかった」というのはありますか?**岡 田:** 「イクメン」という言葉の「育児」って、男性は一緒に遊ぶ!みたいな部分を想像すると思います。お母さん子どもと一緒に遊んでほしいんです。でも、その他のことがたくさんで、そっちを手伝ってほしいと思っています。夫は学校行事に積極的に参加してくれるので感謝しています。「名前がつくが自家の事」のように、細かいことが苦手ですが、「旗官番」「奉仕作業」「運動会の場所取り」などの名前が付いていて分かりやすいことは積極的にやってくれます。父親が学校行事へ参加すると子どもが喜び、私も感謝しています。

自分のことは自分で

横 田: 男性向け講演会で言うのは、「最低限、自分のことは自分でやれよう」ということです。例えばアイロンがけとか。今は「男性が自分のことを自分でやるのが素晴らしい」と評価されますが、男性が家事をするのがまだ当たり前にないというところですね。**ア-ジ:** 普通だろってことです。**横 田:** だって、パパは子どもに「お前 5 歳になったんだから自分でやれよ」って言うんですよ。じゃあパパも 50 歳になったんだから自分でやれよってことです。パパが自分のことは自分でやれば、ママは助かるんですよ。**司 会:** 確かそうですね。仕事と生活の両立を充実させる働き方・生き方っていつのをこれから考えていきたいですね。

会話の時間を大事に

ア-ジ: 仕事で全国各地に行きますがほぼ日曜日、朝早くて夜遅いのが普通です。次の日また日曜で別な代わりに行くから、子どもとは会えなかったりもう寝ていたりすることが多いです。その分、午後からの仕事の時は、午前中だけで子どもと遊んだりしています。**横 田:** 奥様とはどんなタイミングで結婚されたんですか?
ア-ジ: 楽しい日々が終わって、仕事がないのも無かった

時代に結婚しました。結婚して子どもがいるって公表したら、動画などの仕事も増えて前よりも潤った感じがします。子どもと妻が遊んだきた幸運みたいな感じですね。

横 田: ゴー☆ジャズさんが夜中に帰って来ると、奥さんは起きないですよね?**ア-ジ:** いや、起きる場合がありますね。会話の時間を大事にしています。**横 田:** それ大事ですね。**ア-ジ:** 今やっぱゲーム実況という仕事があるんで、ゲームをやらなきゃいけないんです。でもゲームをしていて、妻の話を聞かなくなったら妻がキレると思って、話す機会をちゃんと作っています。あと、赤ちゃんが泣いたらコントローラ一置きまよな。人として。

まとめ

ア-ジ: 僕が悩んでるところが、横田さんたちを聞いて、通り過ぎてきたところなんだあと思って。それを聞いたら安心しますね。助言も頂いて、妻の心を探ってやってみないといけない、と思います。**岡 田:** これをきっかけに家庭で子どものこととかいろいろ話したいと思います。いつも感謝していても不満なところばかり言ってしまうので、それを機会に感謝を改めて伝えたいと思います。**横 田:** 良いママや理想のママよりも、「笑っているママ」になるためにどうすればいいかを考えていくと、少し心のゆわが取れると思います。子どもと一緒に世界大好きなママが笑っていれば、子どもだって笑っていられますですよ。男性は、パートナーであるママの姿を見て、「笑っているママ」になってもらうために何ができるか」を考えていく必要があります。女性理解、パートナー理解というところで、レボリューション(革命)ですね。

REVOLUTION!

